
調達改善のための テンプレート

(株)シーフードレガシー
参考：**FishChoice**

セクション1:環境に関する ゴールとタイムライン

目指すゴール案:

現状把握の結果
(アセスメントが可能であればベスト):

公になっていて適用できる基準:

進捗評価の方法は?

ゴール達成の目標年はいつ?

セクション2：方針の適用範囲

目指すゴール案:

ベストプラクティス：

公表しますか？

効果測定できますか？

公になっている基準を参考にしていますか？

具体的なタイムラインはありますか？

目指すゴールは、自社の市場やセグメントの全てに適用されますか？それとも一部ですか？

このゴールは、どのカテゴリーの水産物に当てはまりますか？

ベストなやり方は水産物の全てのカテゴリを取り組みの範囲とすることですが、必要に応じてカテゴリ（商品形態）別に方針を設定しても構いません。

セクション3:進捗確認

目指すゴール案:

ベストプラクティス:

- 公表しますか？
- 効果測定できますか？
- 公になっている基準を参考にしていますか？
- 具体的なタイムラインはありますか？
- 全ての市場をカバーしていますか？
- 全ての製品のカテゴリをカバーしていますか？

いつ、どこで、どのように、ゴールへの進捗を報告しますか？

ベストなやり方は、重量割合で方針を満たす水産物の進捗状況を毎年公表し、前回の報告時からの進み具合を説明することです。

顧客とはどのように改善の方針を共有しますか？

ベストなやり方は、顧客に自社のサステナブル・シーフードについての方針やその他の課題について情報共有することです。

セクション3:進捗確認

自社の取り扱い水産物の情報を公表しますか？

ベストなやり方は、水産物の由来を公表することです（魚種、漁法／生産方法、漁獲／養殖地域、認証／FIPの状況）。

どのように「漁業改善プロジェクト」や「養殖業改善プロジェクト」を支援しますか？

ベストなやり方はFIP/AIPへの参画、経済的支援、サプライヤーにプロジェクトへの参加を呼びかける、そのFIPをFisheryProgress.org（国際的なFIPの情報提供ウェブサイト）にて報告するよう促すことです。

ゴールを達成するのに必要な政策提言等はできますか？

ベストなやり方は、都道府県、国、世界レベルで環境の持続可能性、社会的責任、トレーサビリティの改善に対して働きかけることです。進みが遅い、膠着している改善プロジェクトを進めたり、レーティングあるいは認証を取得している漁業・養殖業の改善を促すことも良い手法と言えます。。

セクション4:方針の草案を作成してみる

調達改善方針の例

(年 月)までに (適用する市場やセグメントの範囲は?)における(天然または養殖または両方?)の(製品、魚種などのカテゴリは?)の(X)%を(認証水産物、レーティング、その他の基準)に変える。

ベストプラクティス：

- 公表しますか？
- 効果測定できますか？
- 公になっている基準を参考にしていますか？
- 具体的なタイムラインはありますか？
- 全ての市場をカバーしていますか？
- 全ての製品の 카테고리をカバーしていますか？

いつ、どこで、どのように、ゴールへの進捗を報告しますか？